

令和6年度指導教諭の紹介

<p>教科（科目）</p> <p style="text-align: center;">国語</p> <p>名前 (ふりがな)</p> <p style="text-align: center;">山本 悟史 (やまもと さとし)</p> <p>勤務校 (問い合わせ先)</p> <p>大分県立大分工業高等学校 住所：〒870-0948 大分県大分市芳河原台12番1号 TEL：097-568-7322 FAX：097-568-7319</p> <p>授業公開の日程</p> <p>月曜日1限(8:35～) 現代の国語</p> <p>水曜日4限(11:35～) 現代の国語</p>	<p>1 授業の特徴</p> <p>① 単元が相互に関連し合う年間指導計画を作成し、生徒が学びの必然性を感じられるように工夫しています。</p> <p>② 学習材と生徒の実生活とのつながりを重視しながら授業を構想しています。</p> <p>③ 付きたい力を明確にした授業展開を心掛けています。</p> <p>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</p> <p>① 新学習指導要領を踏まえた授業づくりについて</p> <p>② 「重ね読み」や「比べ読み」を取り入れた年間指導計画や授業づくりについて</p> <p>③ 批判的思考力の育成について</p> <p>3 研修講演等が可能なテーマ</p> <p>上記の①～③について</p> <p>4 活動実績</p> <p>○2016「読解方略のメタ認知を促す高等学校国語科授業実践を目指して」(『国語の研究』第41号 大分大学国語国文学会)</p> <p>○2017『土佐日記』における「読むこと」の指導(『国語通信つれづれ』31号 数研出版)</p> <p>○2018『重ね読み』によって思考力、判断力を促す、小説『夏の花』の実践(『月刊国語教育研究』No.551)</p> <p>○2018『山月記』を救済潭として読み解く単元学習の創造(『国語論集15』北海道教育大学釧路校国語科教育研究室)</p> <p>○2018「教材が相互に関連し合う年間指導計画の創造とその実践」(『国語大分』第62号 大分県高等学校教育研究会国語部会)</p> <p>○2018年度～2019年度 大分県教育庁高校教育課 指導主事</p> <p>○2021「主体的・対話的で深い学びを目指した『漁父之利』の授業実践」(『国語論集18』北海道教育大学釧路校国語科教育研究室)</p> <p>○2022「指導教諭をリーダーとしたチームによる授業改善の推進」推進リーダー</p> <p>5 自己紹介、プロフィールなど</p> <p>これからの時代を切り拓いていく生徒を育てていくために、国語科教育の不易流行を見極めながら、資質・能力ベースと教材ベースのバランスのとれた授業実践ができればと思っています。国語科教育について、多くの先生方と一緒に考えていければと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>6 学校紹介</p> <p>創立123年目となる6学科からなる工業高校です。校訓「正確・勤勉・健康」を掲げ、「技術の道で未来をひらく大分工業」をキャッチフレーズに、ものづくりによるひとづくり教育を推進しています。2023年度は、第18回若年者ものづくり競技大会「フライス盤」職種で日本一に輝き、DAIKO水車プロジェクトでは「携帯自立型発電機」で特許を取得するなど、生徒が躍動しています。部活動でもバレーボール部、ウェイトリフティング部をはじめとして、多くの部が活躍しています。</p> <p>7 学校や関係HPのリンクなどアドレス</p> <p>学校 HP http://kou.oita-ed.jp/oitakougyou/</p> <p>学校 facebook https://www.facebook.com/oitakougyou</p>
--	--